

2020年1月28日

お知らせ

箱根登山鉄道株式会社

初夏の箱根の風物詩“箱根あじさい電車”

「夜のあじさい号」の運転休止について

箱根登山鉄道株式会社（本社：神奈川県小田原市、社長：府川光夫）では、例年ライトアップされたあじさいを座席指定制の臨時電車からお楽しみいただく、初夏の箱根の風物詩「夜のあじさい号」を運転しておりますが、令和元年台風19号被災の影響により箱根湯本駅～強羅駅間の運転を休止しているため、2020年度の「夜のあじさい号」の運転を休止いたします。また、例年行っているあじさいのライトアップについても休止いたしますので、お知らせいたします。

参考)「箱根あじさい電車」と「夜のあじさい号」について

箱根登山線は箱根湯本駅から強羅駅までの標高差が400メートル以上もあり、あじさいの見頃もこの標高差とともに移っていくため、鑑賞期間が長いのが特徴です。あじさいといえば梅雨時期の6月が有名ですが、箱根は標高が高いため7月も見頃となります。

この時期の登山電車は車窓に触れるほどに咲き誇るあじさいの中を進むため、多くのお客さまより「箱根あじさい電車」の愛称で親しまれております。また、あじさいの見頃に合わせて全席予約指定制「夜のあじさい号」を臨時運転し、沿線6箇所においてあじさいのライトアップを実施してまいりました。この電車は特別電車のため、宮ノ下駅（下り強羅行）または塔ノ沢駅（上り箱根湯本行）にて電車から降りて撮影をお楽しみいただく時間を設定し、途中のライトアップポイントでは徐行や停車を繰り返しながらゆっくりと進みます。

また、ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社「グリーン電力」の導入により、ライトアップ照明に使用する電力をグリーン電力で賄ったとみなされ、地域の環境保全対策に役立てられております。

※あじさい電車今後の予定

今年のあじさい電車は運転を休止しますが、来年度（2021年度）には再開する予定です。

今年は沿線にあじさい株を増殖して、さらに見ごたえのあるあじさいで皆様をお迎えするため、整備する年とさせていただきます。

以上

<参考>



あじさい電車風景（昼間と夜間）

箱根あじさいの電車の歴史

- | | |
|---------------|--|
| 昭和48年（1973年）頃 | 鉄道職員が自発的にあじさいの植栽を開始 |
| 昭和51年（1976年） | 鉄道職員によるボランティア組織「沿線美化委員会」発足 |
| 昭和60年（1985年）頃 | 沿線に多くの植栽が整備され、この頃より「あじさい電車」という呼称が一般に定着 |
| 平成 6年（1994年） | ライトアップおよび座席指定特別列車「夜のあじさい号」運転開始 |
| 平成22年（2010年） | 神奈川県より「第1回かながわ観光大賞（観光プロモーション部門）」受賞 |
| 平成23年（2011年） | 東日本大震災による電力需給関係により夜間ライトアップおよび「夜のあじさい号」の運転を休止
座席定員制特別列車「チャリティーあじさい号」を運転し、座席料金の全額を東日本大震災の義援金として「あしなが育英会」に寄付 |
| 令和 2年（2020年） | 2019年10月の台風19号の影響で甚大な災害を被り、箱根湯本～強羅間が長期間運休となったため「夜のあじさい号」の運転を休止 |